

ZENKEI AI MAGAZINE

2021年1月号

ZAM 編集部 著

2021-02-24 版 ZENKEI AI FORUM 発行

ZENKEI AI MAGAZINE 創刊！

当初、対面でのイベントとしてスタートした ZENKEI AI FORUM です。2020 年春よりコロナ禍の対応として ZOOM と YouTube によるオンラインでの開催になりました。昨年秋に、イベントの会話に端を発し、技術同人誌イベント「技術書典 9」に「ZENKEI AI FORUM」として初参加、先日 of 年末年始に開催された「技術書典 10」にも継続して参加し、当サークルの活動の 1 つになっています。

これまでも活動内容の情報発信として、当日の ZOOM と YouTube Live によるストリーミングの他、コンテンツのポッドキャスト化など行ってきましたが、このたび、毎月行っているイベントの内容を記録した雑誌の発行をはじめようと思います。

そもそもの出発点は、地方である金沢・石川・北陸に根ざした、AI 技術とその実社会への応用を目的としたローカル・コミュニティを作りたい、というミッションの 1 つの形です。

- 秘密ではない秘密結社としてのコミュニティ
- 専門家にはない、アマチュアゆえの自由な発想を生かす
- 実践的に、経験を通じたスキルの伝承（としての教育）の場

（今のところ、パッと思いつくキーワード）

これからの刊行の予定ですが、基本的に、毎月のイベント毎に、前回のイベント内容のまとめをメインとする月刊誌を刊行します。これは free で一般公開します。現在の構想としては、年に数回（季刊として 4 回か、年 2 回程度か）月刊版の内容をまとめ、また、サークルメンバーによる書き下ろしコンテンツなどを追加し、有料版としての雑誌を発行し「技術書典」等の技術同人誌イベントで配布したいと計画しています。

2021 年 2 月 xx 日

金沢にて

ZENKEI AI MAGAZINE 編集長
市來健吾

目次

ZENKEI AI MAGAZINE 創刊！	2
第 1 章 2021 年 1 月 27 日のイベントのまとめ	4
第 2 章 いちきの発表内容（市來健吾）	5
2.1 （前座）なにかしゃべる	5
2.1.1 緩募	5
2.1.2 AI は流体力学を解けるのか？	5
2.1.3 Raspberry Pi Pico	5
2.2 数理クイズ	6
2.3 技術書典 10 のまとめ	6
2.3.1 今回の ZENKEI AI FORUM サークルの出典ラインナップ . . .	6
2.3.2 前回「技術書典 9」のふりかえり	6
2.3.3 今回「技術書典 10」のふりかえり	6
2.4 今後	7
第 3 章 読んだ本の話 -- M5StickV と jupyternotebook（古川郁衣）	8
第 4 章 技術書典 10 に参加して（中野裕）	9
著者紹介	10

第 1 章

2021 年 1 月 27 日のイベントのまとめ

予定

- [6:30 - 7:00] (前座) なにかしゃべる
- [7:00 - 7:30] 「数理クイズ」 - これまでのまとめと、今日のクイズ (市来)
- [7:30 - 8:00] 「読んだ本の話」 - M5StickV と jupyternotebook (古川)
- [8:00 - 9:00] 「技術書典 10 のまとめ」
 - [8:00 -] 市来
 - [8:15 -] 古川
 - [8:30 -] 中野さん
 - [8:45 -] ワイワイと (座談会形式)

第 2 章

いちきの発表内容（市來健吾）

いちきの発表内容をまとめます。

2.1 （前座）なにかしゃべる

2.1.1 緩募

本を余分に使ってしまった話。

レコードが余分に届いてしまった話。

2.1.2 AI は流体力学を解けるのか？

arxiv: 2006.08762 Learning Incompressible Fluid Dynamics from Scratch -- Towards Fast, Differentiable Fluid Models that Generalize (Nils Wandel, Michael Weinmann, Reinhard Klein)

2.1.3 Raspberry Pi Pico

- 小さい
- 安い
- TensorFlow Lite が走る

2.2 数理クイズ

今回の予定は「これまでのまとめと、今日のクイズ」でしたが、準備不足でできませんでした。すいません。

と言いながら、古川さんが「ないんですかっ！」と言うので、まとまってないし自分で答えをきちんと考えてない問題を共有。

0 ~ 1 の一様乱数に、sigmoid 関数の逆関数を作作用させて得られる乱数の分布関数を求めよ。

2.3 技術書典10のまとめ

2.3.1 今回の ZENKEI AI FORUM サークルの出典ラインナップ

- ・ 古川郁衣 著『ゼロからはじめる AI』
- ・ 中野裕 著『Jupyter Book で AI の解説本を書く方法』
- ・ 市來健吾 著『音楽と数理 才能にたよらない耳コピ』
- ・ 市來健吾 著『厳密な計算 ふたつの球のなめらかなダンス』

ぼくの執筆に関しては、今回は、既刊を引き続き1冊、新刊を書き下ろして1冊、計2冊の販売としました。

2.3.2 前回「技術書典9」のふりかえり

「およそ20日間で1冊の本『音楽と数理』を書き上げて、出典したドタバタ」

2.3.3 今回「技術書典10」のふりかえり

2020年12月6日

予告してましたが拙著、数理三部作構想の2冊目『厳密な計算』ようやく手を動かし始めました！と思ったら #技術書典10 までもう3週間を切りましたね（何も学んでない→ <https://qiita.com/kichiki/items/6d14c7bfea7ef95f4e1a>）

（原文ママ）

2.4 今後

いちきの本は ZENKEI AI FORUM から外そうかな、と AI じゃない (audience が違う?) いちきの趣味本になっている
(代わりに?) 雑誌みたいなの、やってみたい同人といえば、雑誌でしょう、と
それがこの『ZAM (創刊号)』ですね。

第 3 章

読んだ本の話 -- M5StickV と jupyternotebook（古川郁衣）

（ここに古川さんの原稿が入ります。）

第4章

技術書典10に参加して（中野裕）

（ここに中野さんの原稿が入ります。）

著者紹介

第 2 章

いちき けんご
市来 健吾

金沢の全景株式会社でプログラマをやっています。またその活動の一つとして 2017 年から「ZENKEI AI FORUM」という地域コミュニティの運営もやっています。

ぼくは 2009 年に日本に帰国するまでは物理の研究者として大学や研究所で研究をしていました。これまで住んできた街は、広島、仙台、京都、パサデナ（アメリカ）、エンスヘデ（オランダ）、ボルチモア（アメリカ）、ロンドン（カナダ）、エドモントン（カナダ）、金沢です。

第 3 章

ふるかわ いくえ
古川 郁衣

はじめましてこんにちは。

私は一年ほど前に AI の勉強をはじめました。そして、石川県金沢市を拠点としている「ZENKEI AI FORUM」という AI 活用のサークルで『ゼロからはじめる AI』と題して、画像分類や GAN についてなどの話をしたりしています。

第 4 章

なかの ゆたか
中野 裕

1979 年石川県白山市（旧 松任市）生まれ。金沢大学大学院自然科学研究科数物科学専攻修士課程終了。東京でシステムエンジニアとして約 13 年、組み込み系システム開発や携帯端末（ガラケー）、スマートフォン開発に従事。現在は石川県にＵターンで帰省し、株式会社シーピーユーで同じくシステムエンジニアとして CAD アプリケーション、スマートフォンアプリ、VR の開発を担当している。

ZENKEI AI MAGAZINE

2021年1月号

2021年2月24日 初版発行

著 者 ZAM 編集部

編 集 ZAM 編集部

発行所 ZENKEI AI FORUM

(C) 2021 ZENKEI AI FORUM